

会員著書・論文目録（2019年）

氏名	著書・論文名	掲載誌名・出版社名	刊行月
赤川 元章	「第3章 ドイツ」	国際銀行史研究会編 『金融の世界現代史』 (一色出版)	2018年4月
	「体制転換と金融システムの 構造変化(Ⅲ)ーチェコ共 和国の場合ー」	『三田商学研究』 第62巻5号	12月
入江 恭平	「戦後国際金融の歴史的諸相ー」	日本経済評論社	3月
	「ユーロ危機の複合性」	『証券経済研究』 第106号	6月
岩田 佳久	「現代資本主義における利潤 の認識と測定：原理論と段 階論からの検討」	『季刊経済理論』 第56巻第1号	4月
掛下 達郎	「英国リングフェンス銀行の 源流と導入：古くて新しい 問題」	『福岡大学商学論叢』 (川合研先生退任記念 号)第63巻第1・2 号合併号	3月
	「アメリカ型と日本型証券化 市場の形成とその特徴」	公益財団法人 日本証 券経済研究所『証券 経済研究』第108号	12月
北原 徹	「戦後アメリカの実体経済と 金融経済ー1980年代以降の 金融経済の肥大化と変調ー」	『福岡大学商学論叢』 第63巻第1・2号	3月
	「米国における1980年代以 降の所得格差・資産格差の 拡大」	『立教経済学研究』 第73巻第2号	10月
清水 正昭	『金融システムの不安定性と 金融危機 日米英のバブル の発生と崩壊』	日本経済評論社	2018年3月
鳥谷 一生	『世界経済論ー岐路に立つグ ローバリゼーションー』	ミネルヴァ書房(編著)	11月
建部 正義	リカードの貨幣数量説とマ ルクスによるその批判	『商学論纂』(中央大 学)第61巻第1・2号	9月
	MMT (近代的金融理論) をめぐって	『経済』(新日本出版 社)第289号	10月
濱田 康行	「地域金融機関の課題」(共 著)	北海道大学、『地域経 済経営ネットワーク 研究センター 年報』 第8号	3月
	「今こそ協同組合の底力」	一般社団法人家の光 協会、『家の光』2019 年4月号	3月

氏名	著書・論文名	掲載誌名・出版社名	刊行月
	『『地方創生』総論での成功には地方金融の再構築が不可欠』	株式会社太陽、月刊『クォリティ』、2019年10月号	9月
	「起業投資 地域を支える」	『読売新聞 北海道版』	11月
	「地方創生に果たす地方企業の役割」	ほくとう総研、『NETT』第104号、2019年春号	
前田 直哉	「ボンド・ネットワークの盛衰：国際通貨のネットワーク効果、協働効果、履歴効果の観点から」（高屋定美氏との共著）	『信用理論研究』第37号	5月
	「英国による金本位制復帰の選択に関する政策過程の実証分析」（高屋定美氏との共著）	『關西大學商學論集』第64巻第2号	9月
前畑 雪彦	「貨幣資本蓄積と現実資本蓄積のマルクス理論と『リーマン・ショック』」	「中日政治経済学研究 討論会（2019）」報告、主催：北京理工大学人文社会科学学院、共催：清華大学社会科学学院経済学研究 所、開催場所：北京理工大学、日時：2019年5月3日	5月
松本 朗	「格差、企業統治、金融化を考える—『資本論』第3巻第5編第23章「利子と企業者利得をてがかりに—」	基礎経済科学研究所『経済科学通信』第147号	1月
	「リーマン・ショック後の金融政策の特徴に変化があるのか—金融肥大化と変動相場制下におけるゲームのルール—」	『信用理論研究』（信用理論研究会）第37号	5月
山田 博文	「官製バブルが拡大する格差とリスク」	『経済』（新日本出版社）2019年2月号	1月
	『経済とお金のはじまり』	大月書店	9月
	『銀行の誕生と株式のしくみ』	大月書店	10月
	『会社のなりたちとはたらくルール』	大月書店	11月
	「迫る財政金融破綻と資本の強蓄積」	『経済』（新日本出版社）2019年11月号	10月